

新たな挑戦

第二陽光園

第二陽光園では、現在、

50名の入所者、9名の通所者の方々が利用しています。高齢の方や日中をゆったりと過ごしたい方は、歩行運動や体操、発声練習などの身体機能の維持に努めた活動を、仕事(作業)を行い

もらっています。

しかし、ネジ作業のみでは作業量も少なく、利用者さんからも「もっと仕事をしたい。」と言う声も多くあがっていました。利用者さんが楽しんでできる作業は何かと検討していたところ、

ふらっぐよりひとつの作業を紹介されました。それが「ダノンリサイクル作業」というものでした。ダノンはご存知の方もいるかと思いますが、ヨーグルトの製造会社です。

たい利用者さんには、工場から請け負ったネジの袋詰め作業を行って



作業は簡単でヨーグルトの空の容器と容器を覆っているラベルを手作業でひとつずつ分けていくものです。



また、初めての試みとして、施設外での作業も取り入れることにしました。作業の内容としては、直接ダノンの工場に出向き、回収されたヨーグルトの中身を取り出した後、容器と蓋、ラベルとに分別するものです。

工場では、ふらっぐの利用者さんや職員と一緒にの作業を通して会話したり、楽しく協力して作業を行っている様子が見られています。

現在ははまだ毎日出かけているわけではありませんが、施設から外に出て作業をすることで、参加している利用者さんは、今までに増して「仕事を頑張った。」というやり甲斐が得られているようです。



日々試行錯誤を繰り返しています。

これからも利用者さん達が「楽しさ」と「安心感」、そして何よりも「生きがい」を持って生活が出来るように、さまざまな可能性を探りながら「挑戦」し続けて行きたいと思っています。

生活支援員

勤続9年 笹崎 拓未



どうしたら利用者さんが、日中活動において達成感を感じながら、メリハリのある生活を送ることが出来るかが入所施設に課せられたテーマであり、そのために

